

まちかね山吹奏楽団

第10回定期演奏会

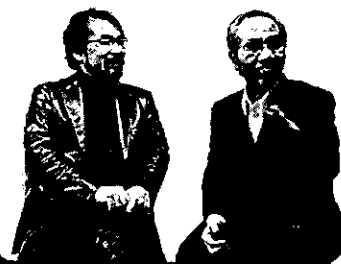
特集！丸谷先生インタビュー

WITH 小野川先生

日時：2012年2月26日(日) ゲスト：丸谷明夫氏、小野川昭博氏
 インタビュアー：岩佐 拓(当団運営部長)

まちかね山吹奏楽団第10回定期演奏会の客演指揮としてお招きしたのは、関西を、いやや今や日本を代表する吹奏楽指導者であるお二人、大阪府立淀川工科高等学校の丸谷明夫先生と、明浄学院高等学校の小野川昭博先生。今回のプログラムのお話や、吹奏楽への想いなどがちりばめられた、大変熱のこもったインタビューとなりました。

(敬称略)



ベーター
 ヴェンの交響曲第九番は「第九」という言葉が一人歩きしている。繰り返して演奏されて、恒例にしていることにより、一般に繋がったのが大きいと思うんです。それを考えた時、吹奏楽の中でアルメを第九的に、一般の方にも吹奏楽を広く知っていただけて、愛好して頂きたい

M...だからこそ、この前みたいにお500人でやつても、多ければ多いだけで面白くもあるし。
 でも、もっと別の願いもあって、吹奏楽のことを一般の人にも広く分かち合いたいんです。

☆同じものを繰り返しやるということも、結構大事

M...だからこそ、この前みたいにお500人でやつても、多ければ多いだけで面白くもあるし。
 でも、もっと別の願いもあって、吹奏楽のことを一般の人にも広く分かち合いたいんです。

☆「吹奏楽の第九をアルメにしたいんや」

今回のまちかね山吹奏楽団(以下、まちかね)の第10回定期演奏会にてアルメニアン・ダンス パート1(以下アルメ)を演奏しますが、丸谷先生はこれまで何回くらいこの曲を指揮されたのですか?
 丸谷(以下M)：わかりません(笑) 数え切れないなあ。どんぐりいやるなあ。それだけたくさん指揮されてきたのですか?
 M：そうやね、大阪府立淀川工科高校吹奏楽部(以下、淀工)だけじゃなく、どこ行ってもアルメをやっています。それだけ魅力的な曲だと思いますか?
 M：そう。ちょっとええぐらいの長さやし、いろいろ変化にも富んでるし、いろんな要素が入ってるし。
 — 先日大阪府吹奏楽連盟の50周年記念演奏会でも演奏していました

しね。
 小野川(以下O)：あれは凄く良かったね。それこそ20年くらい前だったら、アルメを合同でやるという発想も無かっただろうし、そんなレベルでもなかったと思う。

など。そのためにはやっぱり、同じものを繰り返しやるということも、結構大事かなあ。

淀工のやってくるスタンスはそれに近いんだけど、二方では、吹奏楽も含めて音楽というのには、常に目新しさを追うだけじゃなくて、一つのものを掘り下げるということも大事かなあと思ってる。芸を磨くっていうかな。練って練って練って、芸を磨くっていうこと含めて、一番アルメが手ごころかなあと思ってる。

だから僕は、一般の人にも分かっていた方がいい演奏をせないかなあと思ってる。

M...もうこの輪が広がると思いますね。M...そうそう、そういうこと。だから許されるなら、最近よく聴くよね。結構あちこちで、アルメを演奏する団体が増えってきたと思うわ。ええこつちやなあって思ってる。

O...今年明浄では、愛媛県西条市であつ

2009年	定期演奏会	■第七回定期演奏会 ■ 日時：2009年3月7日(土) 開場 18:00 / 開演 18:30 場所：池田市民文化会館 アゼリアホール 【1部】 フェスティバルヴァリエーションズ (C.T. スミス) / シェナンドウア (F. テイケリ) ポエム (B. アニシモフ) / ユー・レイズ・ミー・アップ (R. ロヴランド) 【2部】 オペラ座の怪人 (L. ウェーバー) / ウェストサイドストーリーより シンフォニックダンス (L. パーンスタイン) 【アンコール】 ウェストサイドストーリーより ワン・ハンド・ワン・ハート (L. パーンスタイン) 管弦楽のためのラプソディ (外山雄三) 指揮：田中智章 客演指揮：小野川昭博 客演奏者 (ホルン)：池田重一
	吹奏楽コンクール	■第48回大阪府吹奏楽コンクール ■ 大阪府大会 金賞受賞・府代表 日時：2009年8月16日(日) 場所：箕面市立メイプルホール ■第59回関西吹奏楽コンクール ■ 関西大会 銀賞受賞 日時：2009年8月23日(日) 場所：尼崎市総合文化センター アルカイックホール 課題曲：ネストリアン・モニュメント (平田智暁) 自由曲：シダス (T. ドス) 指揮：田中智章
	その他の主な活動	■第36回大阪府アンサンブルコンテスト ■ 日時：2009年12月27日(日) 場所：堺市民会館大ホール 編成：フルート四重奏 銀賞受賞 曲目：グランドカルテットより (F. クーラウ)
2010年	定期演奏会	■第八回定期演奏会 ■ 日時：2010年3月13日(土) 開場 17:30 / 開演 18:00 場所：大阪市立住吉区民センター 大ホール 【1部】 シンフォニック・ファンファーレ (M. キャンパハウス) カンタベリー・コラール (J. ヴァンデルロースト) / ザ・ウィンズ・オブ・パワー (N. ヘス) 【2部】 風笛 ~あすかのテーマ~ (大島ミチル) / オーボエ・コンチェルティーノ (J. W. カリヴォダ) 【アンコール】 ガブリエルのオーボエ (E. モリコーネ) 【3部】 ブルー・シェイズ (F. テイケリ) / 交響詩「ローマの祭」 (O. レスピーギ) 【アンコール】 ウィー・アー・ザ・ワールド (M. ジャクソン 他) / 行進曲「K点を越えて」 (高橋伸哉) 指揮：田中智章・福野勝久 客演指揮：小野川昭博 客演奏者 (オーボエ)：福田淳
	吹奏楽コンクール	■第49回大阪府吹奏楽コンクール ■ 大阪府大会 金賞受賞・府代表 日時：2010年8月15日(日) 場所：堺市民会館 ■第60回関西吹奏楽コンクール ■ 関西大会 銀賞受賞 日時：2010年8月22日(日) 場所：奈良県文化会館 課題曲：汐風のマーチ (田嶋勉) 自由曲：プラトンの洞窟からの脱出 (S. メリロ) 指揮：田中智章
	その他の主な活動	■第37回大阪府アンサンブルコンテスト ■ 日時：2010年12月26日(日) 場所：堺市民会館大ホール 編成：金管八重奏 (まちかね山吹奏楽団) 金賞受賞 曲目：Brass Octet (高昌帥) 編成：サクソス四重奏 (eNsemble minSTrel) 金賞受賞 曲目：クラーヴェとプレスト (J. リヴィエ)
2011年	定期演奏会	■第九回定期演奏会 ■ 日時：2011年3月5日(土) 開場 17:30 / 開演 18:00 場所：大阪国際交流センター 大ホール 【1部】 オリент急行 (P. スパーク) / 吹奏楽のための交響的ファンタジー「ハウルの動く城」 (久石譲) テューバとバンドのためのコンチェルティーノ (C. サリエリ) 【アンコール】 ハナミズキ〜ソロ・チューバとバンドのための〜 (マシコタツロウ) 【2部】 春の獵犬 (A. リード) / バレエ組曲「シバの女王ベルキス」 (O. レスピーギ) 【アンコール】 サウンド・オブ・ミュージック・メドレー (岩井直博 編) / 第六の幸福をもたらす宿より (M. アーノルド) 指揮：田中智章 客演指揮：小野川昭博 客演奏者 (チューバ)：大塚哲也
	吹奏楽コンクール	■第50回大阪府吹奏楽コンクール ■ 大阪府大会 金賞受賞・府代表 日時：2011年8月14日(日) 場所：堺市民会館 ■第61回関西吹奏楽コンクール ■ 関西大会 銀賞受賞 日時：2011年8月21日(日) 場所：守山市民ホール 課題曲：シャコンヌS (新実徳英) 自由曲：宇宙の音楽 (P. スパーク) 指揮：田中智章
	その他の主な活動	■第10回尼信プラスフェスティバル ■ 日時：2011年1月30日(日) 開場 12:30 / 開演 13:00 場所：尼崎市総合文化センター アルカイックホール 主催：尼崎信用金庫 出演団体：千葉県松戸市立第四中学校吹奏楽部・まちかね山吹奏楽団・大阪府立淀川工科高等学校吹奏楽部・尼崎市吹奏楽団 【曲目】 プライベート・ライオン〜戦没者への讃歌 (J. ウィリアムズ) サウンド・オブ・ミュージック・メドレー (岩井直博 編) 風と共に去りぬより タラのテーマ (M. スタイナー) / 第六の幸福をもたらす宿 (M. アーノルド) 指揮：小野川昭博・田中智章 ■第38回大阪府アンサンブルコンテスト ■ 日時：2011年12月25日(日) 場所：堺市民会館大ホール 編成：金管八重奏 金賞受賞 曲目：金管八重奏のための「文明開化の鐘」 (高橋宏樹)
2012年	その他の主な活動	■大阪府吹奏楽連盟50周年記念演奏会 ■ 日時：2012年2月12日(日) 開場 13:00 / 開演 14:00 場所：大阪城ホール (大阪府大阪市) 【大学・職場・一般合同バンド】 行進曲「美中の美」 (P. スーザ) 浪花のモーツァルト キダ・タロー・メドレー (小島里美 編) ゲストコンダクター：キダ・タロー 【大合同合奏】 アルメニアンダンス・パート1 (A. リード) 翼をください (宮川彬良 編) ふるさと (立田浩介 編) 指揮：丸谷明夫

☆個人的な魅力というか、人間が出来てないと演奏も良くなりません。

た演奏会に招待されたときにアルメの演奏経験があったしね。M:こうしてアルメが、バイブルみたいな言葉はええなあと思ってる。

えはアルメ「アンタンス」になればいいですね。M:そうそう。やっぱりその願いがあります。そこから入ってきて、ホルストやいろんなところへ波及して、吹奏楽の輪が広がって、それが音楽として成立するように。それがええなあと思ってる。それが上手いこと輪が、もつともっと広がって裾野が広がった方がええなあ、と。



大会の前日の晩、たわ。えらいなあと思つたのを覚えてる。やっぱり、人になんぼ習つてもあかんわ。自分で勉強しないと。

ところで、一般の方への吹奏楽の認知に関して、小野川先生なりに意識されていることありますか？ O:僕自身は、残念ながらそこまで余裕が無いから、丸谷先生ほど意識できてない。けれど、(元大阪音楽大学教授の)辻井清幸先生も「一般の人が知ってる曲をやらんとあかん」と言ってる。言ってるんだね。やっぱりお客さんに喜んでもらうから。吹奏楽の世界での流行りの曲もいろいろですけど、やっぱり一般の人が知ってるような曲を演奏した方がいいな。

僕が勝手に先生についているだけ。M:いやいや、そんなことはないよ。ついていてるのはむしろ僕。僕、ついていかんと(方向音痴なので)二人で歩かれへんもん(笑)。

☆人になんぼ習つてもあかんわ、自分で勉強しないと

その二つはやっぱりクラシックの名曲。オペラの序曲もすごく勉強になるし。だから、そういう曲を取り上げていくべきだということ。常々言っておられましたね。そういう部分は丸谷先生もそうですよ。ね。名曲を取り上げておられるし。1812年とか、アイダとか。それと同じレベルにアルメをしていきたいと思っておられるんですよ。当然ホルストの第1組曲第2組曲も含めて、吹奏楽のバイブルにしたいですよ。

丸谷先生、小野川先生に「エール」というか、何かありましたらせめて。M:エールなんか送ってる余裕なんて無いよ(笑)。そうは言っても、小野川先生はこれから吹奏楽を引っ張っていく大きな人物やと思うんや。本人も明浄二に固まってるわけでもないし。やっぱり今のままの、そのままの人間ですと行って欲しいなあと思つてます。変な方向に行く人じゃない

すごく興味深かった。何でそんなこと言っておられるんだらう、って疑問に思うこともたくさんあったんです。でもそれが結局、音楽に繋がっていくのかなって、ことに気がついたり。M:それは生徒指導みたいなのところですか？ O:そう。それを丸谷先生は、緩急と云うか緊張感と云うか、とにかくすごく自然体でやっておられたんです。最近、大

阪音楽大学で一緒に過ごす時でも、すごく自然体でいられるので、ああこういう自然体で生きていけるようになりたいな。それが理想やなって最近思ってます。M:すごく自然。何も無理してないから。だけど、普通に考えたらおかしいよ。吹奏楽コンクールでは関西には代表枠が3つしかない中で争っているわけだから、普通だったら何もなくてもならみ合う関係になりかねない。でも全然そういう感情がないねん。やっぱり「相手はあつぱれや」と思つてやらないと。くちやくちや言つてもしょうがない。

☆生き生き、それが音楽の合奏体としての原点

変よ。ただ、子供は本質的には変わってへんねんな。携帯の普及や、親も子どもも自分の事しか考えてないとか、そういうような社会形態が子どもにも悪い影響を及ぼしてるんやろうなと思つて。まあ、そんなことを言つても始まらないので、ちまちまやるしかないやけどな。

われて。それがすごく悔しいのと同時に、なんでや、どうやら違いが生まれるんや、と高校生とも思つたわ。その小学校は池田にある呉服小学校だったから、当時やつた松平正守先生に練習見学させてくれてお願ひして行つたら、ものすごく小学生が生き生きしてた。ほんまに。

O:残念ながら僕は、普段ずっと学校にいてあげられないから、難しいところがあるのよ。僕自身中学生のときに、音楽以外のことも含めて部活動だということ。を恩師から習つていたので、絶対音楽以外の問題が大事だということも分かってるんだね。

負けたと思つたわ。でもそれが何故なのかまでは分からないまま終つたんやけど、後に松平先生が「子どもに音楽の機関車」と言う本を出したのよ。中身はデータばかりで全然面白くないんやけど(笑)。とにかく、先生だけが機関車に乗って子どもたちを引っ張っていく、「さあついておいで」と言うんじやなくて、子ども一人ひとりに、音楽という機関車を持たせたい。

M:でもな、反対に言うたら、その中でよくやつてるよ。難しいよ、ほんまに。前に立っている人の音楽だけで引張るしかないわけやん？音楽だけじゃなくて生活指導を含めた全部、その人間の処遇まで関わるからこそ、ええもん出来ると思つて。それが出来なくても良いものを作つているということは、普通の人の数倍苦労してると思つてます。

子どもたち一人ひとりを生き生きさせたい。それを、今から40年以上前に松平先生は小学生にやらせてたんです。原点はその辺にあるかな。

淀工だけじゃなくて、丸谷先生が指揮を振るバンドを見てるとすごくバンドが生き生きするなあと言つて印象があるんですが、普段から何か意識されてるんやないですか？

子どもが自分で演奏する。自分で演奏するの、なにもしないのでは、だいぶ差があるやろなあと思つて。なかなか出来ないし、余計なことを言つてしまつし、難しいけど。

M:生き生きさせたいなあと思つてんねん、ほんまに、ほんまに(笑)。これ、話が長くなるんだけど、僕が高校2年の時にスペインと云うマーチを指揮したのね。その時の演奏に対する講評で、かつてやつた小学生の演奏のほうが良かったと言

それでも子どもたちが、自分の思いを本気でちゃんと云うということ。まあその当時の小学生には画期的なことだから、日本一になるのは当たり前だなと思つたよ。

☆自分が楽しむこと

その辺ができてくると、音楽に楽しさが出てくるんやないですか？ M:そりやそうや。だけど、「楽しい」と言つても伝わらないしな。

僕も、色々やつてみたけど、何の仕掛けをやつてもダメだったね。最近やつたやつ、あーやつぱり自分が楽しむこと



それができれば、話をしても相手も退屈していかなく、かつてやつた小学生の演奏のほうが良かったと思つたよ。

「こんな楽しいこと分かんない」とよく言うけど、わからんねん(笑)。それよりも、「おっさんこれ何がおもしろいねん」と思つておもしろくないかと。そういう時は、何やつてもおもしろくないかと。他人行儀で。結局は、こつちの指示に合わさせていたら、もうそいつの主体性なんて抜けてるわけよ。それは、自分から行こうとしてるのとは違つて。もし、ほんまに本気で一人ひとりがやつたら、随分と違う演奏になるだろうな、というの思つて。

今回事二人とも大学の先生でもありながら高校の先生でもある中で、私

たち一般バンドに来ていただいています
が一般バンドの印象を率直に聞かせて
いただきたいと思います。

M: まずな、無理して言ってるんじゃない
よ、ええよ、やっぱりこれ。何かと言った
ら、それこそまず音楽の以前に、自分で
来てるわけや。誰かに拘束されて来てる
わけじゃない。何かの関わりだったり、何
かの打算が働いて来てるわけじゃない。や
りたい人が来ている。そしてまた食べる
ために来てるわけでもないし、単位のた
めに来てるわけでもない。ここが大きい
違うと思う。これはええことちゃうと思
う。この原点の上にいるんだから、一般バ
ンドはもともとそういう精神で音楽もやっ
たほうがいいな。音楽にならたら人が変わ
ってしまつて、誰かに拘束されてるよう
な音楽をやつてしまつて、多量にだけ
それを主体的にやればもともと良くなるだ
ろうな。自分でやつた方がおもしろい
し。そしてその上で、何を評していい音
とすることの判断は、自分らでやつたほ
うがいいと思う。それが本物でそれが偽
者かもよく判断したほうがええと思
う。一般バンドにはええ印象受けてるで
まずこの原点がええやんか。僕も、良い
勉強になったなあと思つたわ。

小野川先生は、一般バンドに期待す
ること何がありますか？
O: せつかく中学校、高校とやつて、大学
でもやつてなれば、やっぱり楽器は続け
て欲しいと思つて、僕は色んな世代の
吹奏楽に関わる仕事をしてるからこ
そ楽器を続けるの手段として一般バ
ンドは頑張つてほしいね。ママさんブラ
スとか、良いことだと思つて。そういう意
味では、気軽に参加できる、「ましかね」
のスタンスはええと思つて、ほんまに。

勉強しただけ、楽しみが増える！

話を聞いてみると私たち一般バ
ンドは、そつじつ受け皿になれてるの
かというところ、なれてない気がするん
です。いろんな人がいるので、いろんな
バンドがあつていいと思つて、一概に
見て一般バンドに望むことはあります
か？

M: 世間一般に対する啓発というか、「み
んなでやつていくで」というメッセージ
を送るというか、いわゆる「吹奏楽の大
衆化」の部分と、「個々のクオリティ」を
高める。その両方を追求してほしいな。
特に一般バンドの場合は、機関車の話と
一緒で、それぞれの奏者が自分のクオリ
ティを高めることをもつと「自分で考
えたい」と思つて、こうやたらええんや
うかと、考えれば、もつといいものが出来
ると思う。難しいけど、もつともつと楽
むために、個々に勉強したらいいかなと
思つた。

勉強したら楽しみも増えると思
うねん。知識が多いただけでも楽しみは
増えるやんか。いろんなこと知つてるほ
うが、楽しみも増えるやんか。
勉強すればするほど音楽に対する楽
しみが増えると思つてねん。だからそれを
楽しくするための努力、それは一般バ
ンドに所属する人ひとりやらないとい
けないと思つて。そうしたら、実は楽
むるの、やっぱり何もかも含めて依頼
心の塊みたいな人が多くなつて。本
当はそれを誰かが仕向けなあかんん
けど、まあそこまでしなくても、今回こ
うやつて関わることでそういう方向に行



面白がつてやつたら、みんなついてくるで

人よりもたくさん勉強したりじゃなく
て、一人ひとりがやればものすごく良
くなるだろーと思つた。
O: 逆にな、楽団のリーダーたちに
氣づいてほしいことだつたり考えてほ
しいことは何かありますか？
M: 今言つたように理想的には、一人ずつ
がしつかり音楽を勉強して楽団の個々の
端から端までがそう思つたらいいん
だ、まず幹部からしつかり勉強したら
いいんじゃないかな？
一般の場合は、時間との戦いになつてし
まうかも、しれないけど、常にそういうこ
とを心がけてれば、リーダーが団員に何
かさせるといふことはいらんと思つたわ。

リーダーが面白がつてやつたら他の人
がみんなついてくると思つた。
あと、小さい意味での吹奏楽というジ
ヤンルの中だけで音楽と言つても、絞
りすぎると、あんまりいいことは出来
ないもつともつと、いろんなジャンルから勉強
するといふか。
だから、リーダーとしての心構えとい
うのは、僕はこうやつたらいいとかそ
ういふのは無いと思つて。みんなが勉強できる
ように仕向ける、それも要らんとおもう。
そいつが自主的にやつたらいいねん。
そんな人が一人でも増えていくと、良
くなる。
ややもすると学校でも、どうしたら人



合宿所にて

☆人生を楽しむ道具のひとつが吹奏楽！

とが大事なやらな。
組織をあまりがちつと作りすぎて
も組織倒れになる。かといつてあんまり
適当にやつてもダメなんだけど、そこ
難しいとやな。
O: 私たちのように、こつこつとそ
の都度集まるバンドでも、音楽が好きで
やつてるんだつていうのを忘れがちに
なつてしまふ。
M: ああそう？でも、見てたらやつぱり
ええなあつて思ふな。ずつと定期的
にやつてるんじゃないのは、僕は逆に好きや
ねん。案外、的を得た組織だと思つて
逆に毎日やつてるけど発表の機会も
無いとかになると、何のためにやつてる
のかわからなくなる。練習だけで楽しい
とかおかしいでしょ。

大人だからこそ楽しめる吹奏楽つ
ていうのを、私たちがもつと追及してい
ければと思つた。
O: そう、人生を楽しむ道具の一つとい
と思つた。
O: そうか、そうですね。そこも忘れ
てますね。吹奏楽を楽しくもつとして
るのかもしれないね。
人生を楽しむための一つの道具が吹
奏楽、ということですね。
O: いい意味で、「ましかね」は固定され
てないバンドだから、普段は別の楽団に
いてたりする人たちが、「久しぶりにま
しかねに参加して元気になりたいな」
と思つて、楽しもうと参加してくるメン
バーがこれからもたくさんいると面白
いよ。



このインタビューで改めて考えさせ
られるものがたくさんありました。
丸谷先生、小野川先生、長時間のお
付きあい、ありがとうございました。

株式会社 ビデオアップ
7534-0015 大阪府東区豊原寺町2丁目
6-14 田中旭ビル3階
Tel.06-6929-0874 Fax.06-6929-0873
http://www.videoup.co.jp/
Free Dial 0120-0874-74

残しておきたいあの日の感動

2006年	その他の主な活動	<p>■第32回大阪府アンサンブルコンテスト■ 日時：2005年12月25日(日) 場所：大阪府立青少年会館 編成：サクセス八重奏 金賞受賞 曲目：「スカラムーシュ」～空飛ぶお医者さん～ (D. ミヨ)</p>
	定期演奏会	<p>■第四回定期演奏会■ 日時：2006年3月4日(土) 開場18:00/開演19:00 場所：尼崎市総合文化センター アルカイックホール 【1部】アルメニアン・ダンス パート1 (A. リード)/パガニーニの主題による幻想変奏曲 (J. パーンズ) 【2部】トロンボーン協奏曲「カラズ」 (B. アッペルモント)/虹の彼方に (H. アーレン) 【3部】夜を守る友 (M. キャンプハウス)/楽劇「サロメ」より7つのヴェールの踊り (R. シュトラウス) 【アンコール】チャルダッシュ (V. モンティ) 歌劇「ローエングリン」より エルザの大聖堂への行列 (R. ワーグナー) 指揮：田中智章・福野勝久 客演指揮：小野川昭博 客演奏者(トロンボーン)：新田幹男</p>
	吹奏楽コンクール	<p>■第45回大阪府吹奏楽コンクール■ 大阪府大会 金賞受賞・府代表 日時：2006年8月13日(日) 場所：大阪府立青少年会館 ■第56回関西吹奏楽コンクール■ 関西大会 銀賞受賞 日時：2006年8月20日(日) 場所：京都会館第一ホール 課題曲：パルセイション (木下牧子) 自由曲：第六の幸福をもたらす宿 より (M. アーノルド/瀬尾宗利) 指揮：田中智章</p>
その他の主な活動	<p>■第33回大阪府アンサンブルコンテスト■ 日時：2006年12月24日(日) 場所：大阪府立青少年会館 編成：サクセス八重奏 金賞受賞 曲目：「ボーギーとベス」より (G. ガーシュウィン)</p>	
2007年	定期演奏会	<p>■第五回定期演奏会■ 日時：2007年3月4日(日) 開場17:00/開演17:30 場所：尼崎市総合文化センター アルカイックホール 【1部】ゴッドスピード! (S. メリロ)/主こそ我が望み (D. R. キリングハム) アンティフォナーレ (V. ネリベル) 【2部】クラリネット五重奏曲より 2楽章ファンタジア・4楽章ロンド (C.M. ウェーバー) ラテン・フィエスタ 闘牛士のマンボ〜エル・チョクロ〜エル・クバンチェロ (鈴木英史 編) ＜アンコール＞交響曲第2番より アダージェョ (作曲：S. ラフマニノフ) 【3部】交響組曲 GR (新版)「地球が静止する日」(天野正道) 【アンコール】コンチェルト・グロッソ (天野正道) 指揮：田中智章・福野勝久 客演指揮：佐藤正人 客演奏者(クラリネット)：上田 希</p>
	吹奏楽コンクール	<p>■第46回大阪府吹奏楽コンクール■ 大阪府大会 金賞受賞・府代表 日時：2007年8月12日(日) 場所：大阪府立青少年会館 ■第57回関西吹奏楽コンクール■ 関西大会 銀賞受賞 日時：2007年8月19日(日) 場所：橿原文化会館 課題曲：ナジム・アラビー (松尾善雄) 自由曲：交響組曲「GR」より (天野正道) 指揮：田中智章</p>
	その他の主な活動	<p>■第34回大阪府アンサンブルコンテスト■ 日時：2007年12月23日(日) 場所：大阪府立青少年会館 編成：サクセス五重奏 (まちかね山サクソフォンアンサンブル) 金賞受賞 曲目：サクソフォン五重奏のためのセカンドバトル (天野正道) 編成：木管五重奏 (まちかね山吹奏楽団) 銀賞受賞 曲目：3つの水夫の歌 より (M. アーノルド)</p>
2008年	定期演奏会	<p>■第六回定期演奏会■ 日時：2008年3月8日(土) 開場13:00/開演13:30 場所：森ノ宮ピロティホール 【1部】交響的序曲 (J. パーンズ) シンフォニックバンドのためのパッサカリア (兼田敏) エクスピエーション〜贖罪〜(天野正道)/もっくんのタイコ物語 (杉浦邦弘) 【2部】クラウドバースト (E. ウィッテカー)/宇宙の音楽 (P. スパーク) 【アンコール】管弦楽のためのラプソディ (外山雄三)/カーペンターズ・フォーエバー (真島俊夫 編) 指揮：田中智章 客演指揮：小野川昭博 客演奏者(パーカッション)：渡辺由美子・伊坂浩嗣</p>
	吹奏楽コンクール	<p>■第47回大阪府吹奏楽コンクール■ 大阪府大会 金賞受賞・府代表 日時：2008年8月10日(日) 場所：大阪府立青少年会館 ■第58回関西吹奏楽コンクール■ 関西大会 銀賞受賞 日時：2008年8月24日(日) 場所：守山市民ホール 課題曲：火の断章 (井瀧昌樹) 自由曲：ローザのための楽章 (M. キャンプハウス) 指揮：田中智章</p>
	その他の主な活動	<p>■第35回大阪府アンサンブルコンテスト■ 日時：2008年12月21日(日) 場所：大阪府立青少年会館 編成：サクセス四重奏 (まちかね山サクソフォンアンサンブル) 銀賞受賞 曲目：アンダンテとスケルツォ (E. ボザ) 編成：木管三重奏 (まちかね山吹奏楽団) 銀賞受賞 曲目：イディール (福田洋介)</p>

☆ 過去の活動一覧

2001年	定期演奏会	
	吹奏楽コンクール	<p>■第40回大阪府吹奏楽コンクール■ 金賞受賞 日時：2001年8月12日(日) 場所：大阪府立青少年会館 課題曲：平和への行列 (戸田 颯) 自由曲：カウボーイ序曲 (J. ウィリアムズ) 指揮：田中智章</p>
	その他の主な活動	
2002年	定期演奏会	<p>■第一回定期演奏会■ 日時：2002年3月9日 開場13:30/開演14:00 場所：吹田市文化会館メイシアター 大ホール 【1部】カウボーイ序曲 (J. ウィリアムズ)/いなか道をゆく (A. コーブランド) パントマイム (P. スパーク) 【2部】歌劇「ムツェンスク郡のマクベス夫人」より (D. ショスタコーヴィチ) 第六の幸福をもたらす宿 (M. アーノルド) 【アンコール】ヴェニスの謝肉祭 (H. L. クラーク)/スパイラル・タワー (鈴木英史) 指揮：田中智章 客演指揮：小野川昭博 客演奏者(ユーフォニアム)：木村寛仁 ゲスト編曲者：鈴木英史</p>
	吹奏楽コンクール	<p>■第41回大阪府吹奏楽コンクール■ 金賞受賞 日時：2002年8月11日(日) 場所：大阪府立青少年会館 課題曲：追想 (岡田宏) 自由曲：交響曲第7番「BR」(天野正道) 指揮：田中智章</p>
	その他の主な活動	
2003年	定期演奏会	<p>■第二回定期演奏会■ 日時：2003年3月1日(土) 開場13:30/開演14:00 場所：尼崎市総合文化センターアルカイックホール 【第1部】地上の冒険 (J. ウィリアムズ)/サクソフォン協奏曲 (H. トマジ) いつか王子さまが (F. チャーチル) 【第2部】交響曲第3番 (J. パーンズ) 【アンコール】交響曲第2番より アダージェョ (S. ラフマニノフ) 即興演奏/吹奏楽のための第1組曲より マーチ (G. ホルスト) 指揮：田中智章 客演指揮：小野川昭博 客演奏者(サクソフォン)：平野公崇</p>
	吹奏楽コンクール	<p>■第42回大阪府吹奏楽コンクール■ 金賞受賞 日時：2003年8月10日(日) 場所：大阪府立青少年会館 課題曲：行進曲「虹色の風」(松尾善雄) 自由曲：絵のない絵本 (樽屋雅徳) 指揮：田中智章</p>
	その他の主な活動	
2004年	定期演奏会	<p>■第三回定期演奏会■ 日時：2004年3月6日(土) 開場18:00/開演18:30 場所：森ノ宮ピロティホール 【1部】パンチネロ (A. リード)/タイム・トゥ・セイ・グッバイ (F. サルトーリ) サガ・キャンディダ〜魔女狩りの7つの印象 (B. アッペルモント) 【2部】トランペット協奏曲 (A. アルチュニアン)/サモン・ザ・ヒーロー (J. ウィリアムズ) 【3部】アルプスの詩 (F. チェザリーニ) 【アンコール】ゴッドファーザーII 愛は誰のために (N. ロータ)/「GR」より 明日への希望 (天野正道) 指揮：田中智章 客演指揮：小野川昭博 客演奏者(トランペット)：高橋敦</p>
	吹奏楽コンクール	<p>■第43回大阪府吹奏楽コンクール■ 大阪府大会 金賞受賞・府代表 日時：2004年8月15日(日) 場所：大阪府立青少年会館 ■第54回関西吹奏楽コンクール■ 関西大会 銅賞受賞 日時：2004年8月22日 場所：橿原文化会館 課題曲：祈りの旅 (北爪道夫) 自由曲：サガ・キャンディダ (B. アッペルモント) 指揮：田中智章</p>
	その他の主な活動	
2005年	定期演奏会	
	吹奏楽コンクール	<p>■第44回大阪府吹奏楽コンクール■ 金賞受賞 日時：2005年8月14日(日) 場所：大阪府立青少年会館 課題曲：マーチ「春風」(南俊明) 自由曲：楓葉の舞 (長生淳) 指揮：福野勝久</p>
	その他の主な活動	<p>■JOYFUL BRASS 2005■ 三木ウィンドフィルハーモニー・まちかね山吹奏楽団 日時：2005年5月1日(日) 開場16:00/開演17:00 場所：ザ・シンフォニーホール 【曲目】＜第二部：まちかね山吹奏楽団＞ 新時代へのファンファーレ (J. スタンブ) スリープ (E. ウィッテカー)/オペラ「メリーマウント」組曲 (H. ハンソン) 指揮：福野勝久 客演指揮：小野川昭博 ＜第三部：合同ステージ＞ メリーウィドウセレクション (F. レハール) 蝶々夫人ファンタジー (G. プッチーニ)/歌劇「アイーダ」より (G. ヴェルディ) 客演指揮：斎田好男</p>